



2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社壽屋 上場取引所 東
 コード番号 7809 URL <https://www.kotobukiya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 村岡 幸広 (TEL) 042-522-9810
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の業績(2019年7月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	3,557	△13.9	△51	—	△72	—	△52	—
2019年6月期第2四半期	4,130	△12.2	78	△80.6	54	△84.6	33	△86.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年6月期第2四半期	△19.26		—					
2019年6月期第2四半期	12.20		11.87					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	7,404	2,661	35.9
2019年6月期	7,733	2,855	36.9

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 2,661百万円 2019年6月期 2,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年6月期	—	0.00			
2020年6月期(予想)			—	30.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	6.1	400	47.0	360	47.2	248	80.3	91.16

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年6月期2Q	2,756,400株	2019年6月期	2,751,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年6月期2Q	69,393株	2019年6月期	30,593株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年6月期2Q	2,706,017株	2019年6月期2Q	2,742,748株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景として緩やかな回復基調で推移しているものの、米国・中国間の貿易摩擦や英国のEU離脱問題に対する先行き懸念が長引くなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社は世界各国の顧客ニーズに合わせた魅力ある新製品開発を行うと共に、自社IP (Intellectual Property：キャラクターなどの知的財産) による製品開発に特に注力してまいりました。

卸売販売につきましては、国内市場では2019年10月に好評配信中のソーシャルゲーム「アリス・ギア・アイギス」と自社IP「メガミデバイス」のコラボレーション第2弾として「兼志谷シタラ (かねしやしたら)」をメガミデバイス仕様で発売しました。3種の塗装済表情パーツや多彩なギアパーツが付属しており、装着して楽しめるプラモデルシリーズとして好調に推移しております。また「フレームアームズ・ガール」シリーズより2019年11月に「轟雷改 [白]Ver. 2」、2019年12月に「ゼルフィカールST Ver.」を発売し、その関連製品である「フレームアームズ」、「モデリング・サポート・グッズ」等の販売にも注力しました。他社IP製品については、大人気アニメ「五等分の花嫁」より、五つ子の三女「中野三玖」を発売、シンプルなポーキングながらふわりと浮いた髪の表現が生き活きとした印象の造形となっており、好評を得ました。

海外市場では、2019年10月に「BILIBILI WORLD 2019 上海」に出展し、会場限定品をはじめとした物販コーナー、最新フィギュア・キャラクターグッズの展示、非売品ノベルティの配布などを行い、アジアを中心に販売活動を勢力的に取り組みました。自社IP製品についても「メガミデバイス」シリーズをはじめアジアを中心に好評を得ており、地域ごとのローカライズ活動に注力してまいりました。

直営店舗、ECサイトによる小売販売につきましては、引き続き「鬼滅の刃」シリーズの商品が好調に推移、また、直営店舗では「劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVEキングダム」とコラボした「es fest12」を2019年12月に開催。「ラバーストラップコレクション」、「デコキラバッジコレクション」を発売し、盛況な結果となり、関連商品が好調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、上記取組みを積極的に行い、フィギュアの売上高は順調に推移しましたが、プラモデルの売上高は伸び悩み、売上高は3,557,830千円(前年同期比13.9%減)、営業損失は51,542千円(前年同期は78,371千円の営業利益)、経常損失は72,076千円(前年同期は54,813千円の経常利益)、四半期純損失は52,116千円(前年同期は33,466千円の四半期純利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は7,404,999千円となり、前事業年度末に比べ328,087千円(4.2%)の減少となりました。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は3,654,997千円で、前事業年度末に比べ294,252千円(7.5%)減少しております。これは前渡金の増加92,484千円があった一方で、売掛金の減少417,071千円があったことが主な要因であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は3,750,001千円で、前事業年度末に比べ33,834千円(0.9%)減少しております。これは投資その他の資産の増加38,170千円があった一方で、建物の減少58,471千円があったことが主な要因であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は1,625,228千円で、前事業年度末に比べ26,005千円(1.6%)減少しております。これは買掛金の減少26,710千円が主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は3,117,819千円で、前事業年度末に比べ108,920千円(3.4%)減少しております。これは長期借入金の減少122,940千円が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は2,661,950千円で、前事業年度末に比べ193,161千円(6.8%)減少しております。これは配当金の支払いによる81,612千円の減少、自己株式の取得による62,494千円の減少及び四半期純損失52,116千円を計上したことにより利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ20,699千円減少し、217,731千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純損失72,205千円の計上、前渡金の増加額92,484千円による減少要因があった一方で、減価償却費404,107千円、売上債権の減少額417,071千円による資金の増加を主な要因として、570,950千円の収入となりました(前年同期は459,076千円の収入)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出291,432千円による資金の減少を主な要因として、348,287千円の支出となりました(前年同期は464,464千円の支出)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入100,000千円の資金の増加があった一方で、長期借入金の返済による支出195,299千円、配当金の支払額81,450千円及び自己株式の取得による支出62,494千円の資金の減少を主な要因として236,182千円の支出となりました(前年同期は80,514千円の支出)。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年8月13日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更ありません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,406,713	1,412,835
売掛金	1,298,289	881,218
商品及び製品	532,222	544,395
未着品	71,472	26,186
仕掛品	298,828	348,137
貯蔵品	4,027	4,796
前渡金	131,283	223,767
前払費用	146,968	173,916
その他	152,274	132,574
貸倒引当金	△92,830	△92,830
流動資産合計	3,949,250	3,654,997
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,071,076	2,012,604
土地	708,408	708,408
その他(純額)	435,572	429,896
有形固定資産合計	3,215,057	3,150,909
無形固定資産	83,670	75,813
投資その他の資産	485,108	523,278
固定資産合計	3,783,836	3,750,001
資産合計	7,733,086	7,404,999
負債の部		
流動負債		
買掛金	361,797	335,086
短期借入金	400,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	371,870	299,511
賞与引当金	37,338	37,584
ポイント引当金	50,641	48,855
その他	429,587	404,190
流動負債合計	1,651,234	1,625,228
固定負債		
長期借入金	2,859,452	2,736,512
退職給付引当金	101,607	110,393
役員退職慰労引当金	205,600	210,750
資産除去債務	20,260	20,344
その他	39,819	39,819
固定負債合計	3,226,739	3,117,819
負債合計	4,877,974	4,743,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	441,309	442,839
資本剰余金	403,809	405,339
利益剰余金	2,055,352	1,921,622
自己株式	△45,357	△107,851
株主資本合計	2,855,112	2,661,950
純資産合計	2,855,112	2,661,950
負債純資産合計	7,733,086	7,404,999

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	4,130,227	3,557,830
売上原価	2,803,858	2,293,380
売上総利益	1,326,368	1,264,450
販売費及び一般管理費	1,247,997	1,315,992
営業利益又は営業損失(△)	78,371	△51,542
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	242	474
受取手数料	683	685
助成金収入	—	1,000
その他	1,253	2,561
営業外収益合計	2,179	4,722
営業外費用		
支払利息	21,336	20,157
為替差損	4,030	4,431
その他	369	668
営業外費用合計	25,736	25,256
経常利益又は経常損失(△)	54,813	△72,076
特別損失		
固定資産売却損	—	128
特別損失合計	—	128
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	54,813	△72,205
法人税、住民税及び事業税	13,287	555
法人税等調整額	8,060	△20,643
法人税等合計	21,347	△20,088
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,466	△52,116

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	54,813	△72,205
減価償却費	384,816	404,107
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,954	245
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,021	8,785
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,800	5,150
ポイント引当金の増減額(△は減少)	653	△1,785
受取利息及び受取配当金	△242	△474
助成金収入	—	△1,000
支払利息	21,336	20,157
為替差損益(△は益)	4,472	6,154
固定資産売却損益(△は益)	—	128
売上債権の増減額(△は増加)	56,824	417,071
たな卸資産の増減額(△は増加)	18,649	△16,964
仕入債務の増減額(△は減少)	63,446	△26,710
前渡金の増減額(△は増加)	△40,071	△92,484
前払費用の増減額(△は増加)	71,354	△26,948
その他	△22,830	△83,701
小計	600,090	539,526
利息及び配当金の受取額	274	493
利息の支払額	△21,309	△19,997
助成金の受取額	—	1,000
法人税等の支払額	△119,979	△586
法人税等の還付額	—	50,514
営業活動によるキャッシュ・フロー	459,076	570,950
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,260,263	△1,003,157
定期預金の払戻による収入	1,188,187	976,336
有形固定資産の取得による支出	△352,575	△291,432
無形固定資産の取得による支出	△25,654	△13,293
その他	△14,158	△16,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△464,464	△348,287
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△200,623	△195,299
社債の償還による支出	△10,000	—
株式の発行による収入	11,736	3,061
自己株式の取得による支出	△98	△62,494
配当金の支払額	△81,529	△81,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,514	△236,182
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,835	△7,179
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△90,736	△20,699
現金及び現金同等物の期首残高	467,832	238,430
現金及び現金同等物の四半期末残高	377,095	217,731

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントはホビー関連品製造販売事業のみの単一であるため、記載を省略しております。